

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 7 日作成)

|                              |  |                               |                               |
|------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 温度荷重小委員会   |                               | 主 査 名：石川孝重<br>就任年月：2010 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 構造委員会<br>荷重運営委員会   |                               | 委員長名：中島正愛<br>主 査 名：河井宏允       |
| 設 置 期 間                      | 2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月  |                               |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 2012～2013 年度：「建築物荷重指針・同解説」改定のための準備。<br>(内容の充実化と各種気象データの更新等)<br>2014 年度：「温度荷重設計資料集」の内容に加えて増補する事項についての協議。<br>2015 年度：実務上有益な温度荷重設計の在り方や設計フローについての協議。                        |                               |                               |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：無  |                               |                               |
|                              | 主査：石川孝重(日本女子大学)<br>幹事：長瀬 悟(日建設計)、池田周英(竹中工務店)、久木章江(文化学園大学)<br>委員：浅井英克(大林組)、伊藤博夫(伊藤構造環境研究所)、小林秀雄(日本設計)、中島秀雄(清水建設)、永田明寛(首都大学東京)、林幸雄(SD コンサルタント)、持田悟(東京都まちづくりセンター)、李在純(大建設計) |                               |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                               |                               |
| 2012 年度予算                    | 40,000 円   | ホームページ公開の有無：無<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目  | 自己評価   |
|--|--|
| 委員会開催数                                     | 5 回 (年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                      |  |
| 講習会  |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>* 能力開発支援事業委員会承認企画 |  |
| 大会研究集会                                     |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                         |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)             | 1. 計画通りの達成度であった。<br>2. 設計事例データを蓄積し、「建築物荷重指針・同解説」改定のための準備を行った。<br>3. 設計事例データの検討を通じ、「温度荷重設計資料集」の内容に加えて増補すべき事項に関する検討を行った。また実務上有益な温度荷重設計の在り方や設計フローについても検討を行った。 |
| 委員会活動の問題点・課題                               | ※主な課題<br>1. 荷重組合せの扱い方について整理する。<br>2. 温度荷重による被害事例を収集し、それらへの対策を整理する。<br>3. 非構造部材の温度荷重による留意事項を整理する。<br>4. 国際基準との整合性について整理する。                                  |